



住宅用 太陽光発電システム 羽束師 27号地

発電量シミュレーション

太陽光発電で光熱費を節約

年間推定発電量 6,550 kWh/年

年間推定発電金額 124,415 円/年

[内訳] 自家消費分 1 38,565 円/年
売電する分 2 85,850 円/年

1 発電し自家消費した分の単価(税込)を 25.71 円/kWh にて計算
2022年4月1日現在の電力単価です。ご契約の電気料金に合わせて変更をお願いします。

2 発電し売電した分の単価(税込)を 17.0 円/kWh にて計算

自家消費電力量を 1,500 kWh/年として計算しております。

自家消費率30%以上を満たしていない場合があります。(10kW以上~50kW未満)

自家消費電力量は、ライフスタイルによって異なります。

自家消費電力量が変わると、金額換算も変わります。

環境貢献度

いまこそクリーンエネルギーへ

石油削減量 3 1,486 リットル/年
CO2削減効果 4 2,616 kg-CO2/年
スギ本数換算 5 187 本
森林面積換算 6 7,326 m²

CO₂が大量発生
すると

↓
地球温暖化
が進み

↓
地球環境への影響が心配

3 石油削減量は「NEDO導入ガイドブック」より算出しています。

4 CO2削減効果は「太陽光発電の調査研究」を基に算出しています。

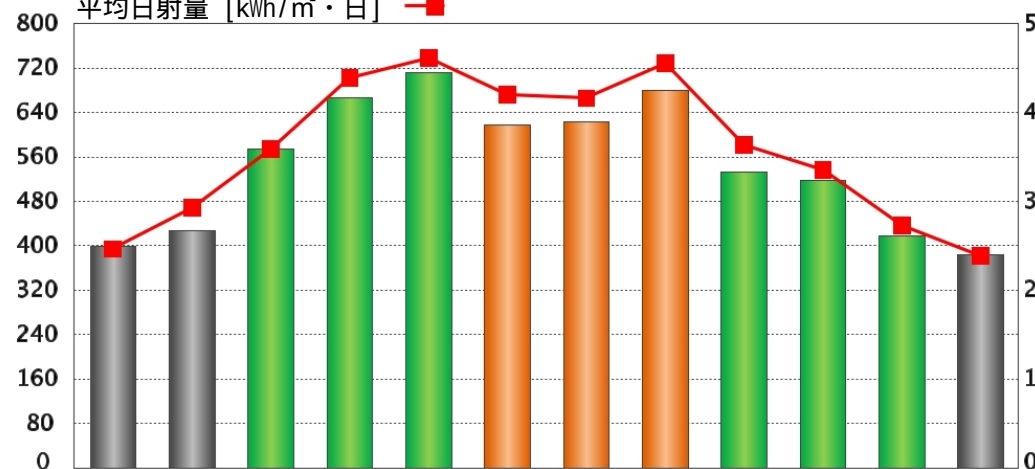
5 スギ1本あたり14kgのCO2吸収量(環境省・林野省資料より算出)

6 森林1haあたり0.974t-C/ha吸収量(「NEDO導入ガイドブック」より算出)

シミュレーション結果の太陽光発電システム条件

気象観測地点 京都 (京都) 緯度 35.02° 経度 135.73°
太陽電池容量 5.88kW 245W×24枚
方位 勾配(角度) 太陽電池容量
第1面 南東 3寸 5,880W

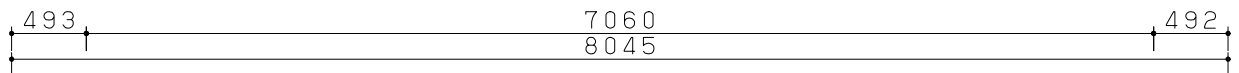
月別推定発電量[kWh/月] 12月~2月 3~5月、9~11月 6~8月
平均日射量[kWh/m²・日]



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均日射量 [kWh/m ² ・日]	2.464	2.924	3.594	4.39	4.616	4.203	4.16	4.55	3.64	3.347	2.727	2.391
推定発電量 [kWh/月]	399	427	575	666	711	618	623	679	533	518	417	384

- 発電量は、平均日射量データとしてNEDO/(財)日本気象協会「日射関連データの作成調査」の値を用い、システムの各損失を考慮して算出したものです。また、発電量の金額換算も記載の単価で算出したものであり、気象条件や設置条件、電力単価等により、実際の発電量、発電金額と異なる場合があります。保証値ではありません。
- 発電量シミュレーションは、影・積雪・経年劣化・出力抑制・力率一定制御などによる影響は考慮しておりません。
- JIS C 8907:2005「太陽光発電システムの発電電力量推定方法」に基づく各数値
- ・ 温度補正係数：太陽電池「単結晶PERCモジュール(120/96/80セル)」の温度特性とMONSOLA-11のそれぞれ地域の月別日平均気温と加重平均太陽電池モジュール温度上昇：21.5 (屋根置き形の場合)から算出
- ・ インバータ実効効率：5.5~3.5% (パワーコンディショナにより異なります。)
- ・ 総合設計係数：0.93 (総合設計係数からインバータ実効効率、温度補正係数を除く)
- ・ 昇圧回路付接続箱を用いた場合、約1%のロス率が発生する場合があります。
- 発電量シミュレーション=月別推定発電量の合計(温度補正係数×インバータ実効効率×総合設計係数×ピークカットのロス率×太陽電池容量×月平均日射量データ)
- ピークカットロス率の差は日射の強さ、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差、及び温度条件により±4.5%程度の差があります。
- 実使用時の出力(発電電力)は日射の強さ、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差、及び温度条件により異なります。発電電力は最大でも太陽電池容量の70~80%程度になります。

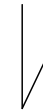
[illegible]



部材一覧表（各面ごとのカバー類など）

No	品名	品番	数	備考
1	Z軒カバー35L1765	VBLKZ1765A	4	
太陽電池モジュール ①:MP245SS ②: 太陽電池容量 5.88 kW ③:				
屋根置き 瓦形状:化粧スレート瓦 野地板:構造用合板12mm以上				
金具 MP工法 アンカー方式70mm				

流れ方向



＜屋根置きタイプ：注記＞

- 野地板、垂木に劣化、雨漏れ・結露の形跡がある場合は設置できません
 - 躯体、野地板の強度が保たれており、
屋根材に割れ・漏水などの問題がないこと
 - 屋根重量が増加するため、躯体が重量に耐え得るかを
必ず確認してください
- 重量増(月安)

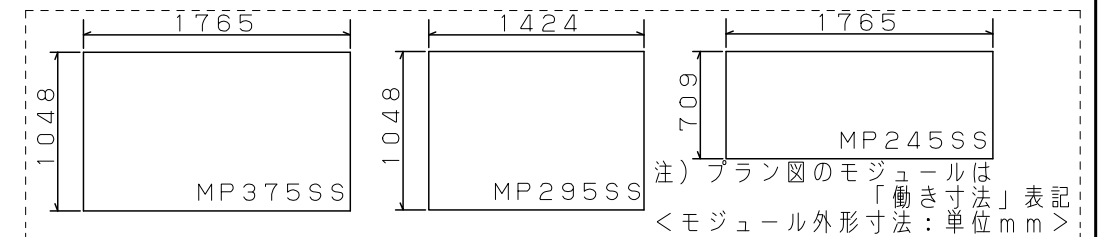
MP375SS	約23~37kg/枚
MP295SS	約19~33kg/枚
MP245SS	約16~27kg/枚

【施工時の注意】

- 配線系統図の説明をご確認ください

【現地調達部材「屋根置き」】

- 配線部材やブレーカ、電力メータなどが必要です
- 複数面に設置の場合、中間ケーブル数をご確認下さい
- 強風多雪地域設置で3本フレームの場合は
モジュール中央250mmの範囲はフレームを配置できません。



プラン図	屋根面割付図	2 枚中 1 枚目	方位 南東	屋根勾配 3.0 寸
------	--------	-----------	-------	------------

Panasonic

羽束師27号地

MP工法 屋根置き MP245SS アンカー方式 (70mm)

2022 年08 月03日

縮尺

1 / 50

代理店様名

ご担当

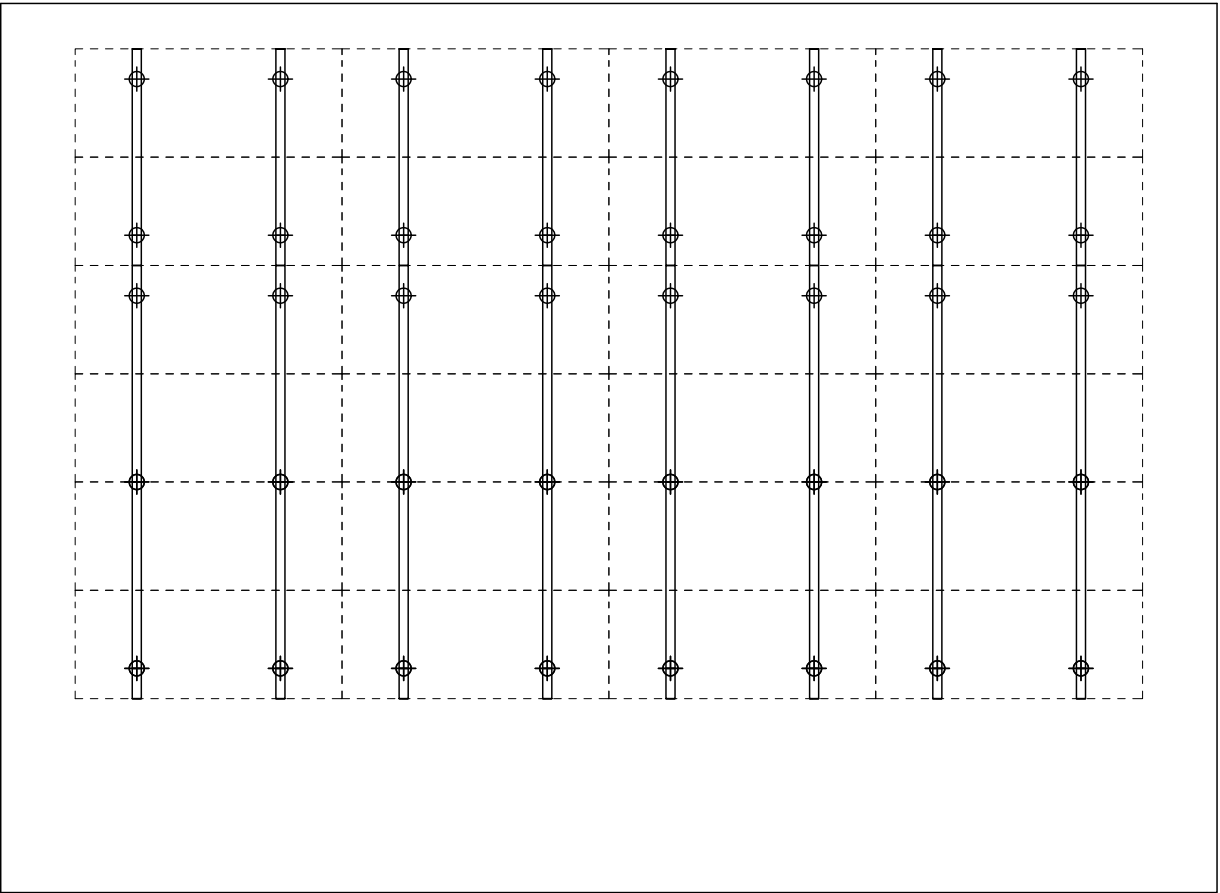
販売店様名

ご担当

担
当

提案 No.

WNC3CB

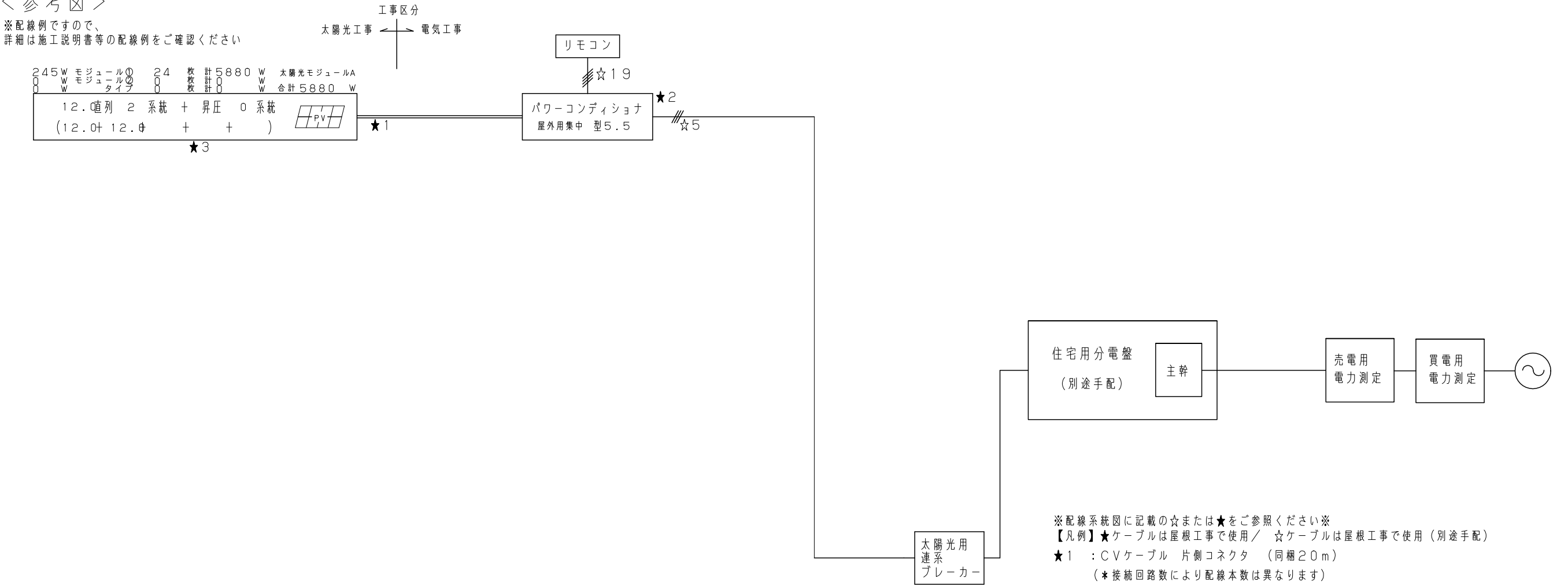


フレーム配置参考図

(注) この配置図は参考図です。取り付け位置などは、現場にて検討・施工してください。

＜ 参 考 図 ＞

※配線例ですので、
詳細は施工説明書等の配線例をご確認ください



※配線系統図に記載の☆または★をご参照ください※
【凡例】★ケーブルは屋根工事で使用／ ☆ケーブルは屋根工事で使用（別途手配）
★1 : CVケーブル 片側コネクタ（同梱20m）
（＊接続回路数により配線本数は異なります）
★2 : アース線 1V 5.5m（パワコンごと）
★3 : CVケーブル 両側コネクタ（同梱5m）
☆4 : CVまたはVV2心ケーブル
☆5 : CVまたはVV3心ケーブル 8mm²もしくは14mm²
【モニター等がある場合】
☆6 : VVケーブル 3心 Φ1.6×1.5m
（電力検出ユニットの施工説明書による）
☆7 : 付属CT線（長さ1.5m、太陽光用・主幹用）
☆8 : アース線 1V 1心 2mm²
☆9 : LANケーブル（別途手配）
（※出力制御なしの場合は不要）
（※有線接続の場合☆9のケーブル必要。無線接続の場合☆9は不要）
☆15: FCPEV Ø0.9-2P×30m
（＊☆15は複数台設置時に使用）
☆19: FCPEV Ø0.9-1P×30m
（※余剰…※出力制御なしの場合は不要）
（※全量…※出力制御あり・なし共に必要）

配線系統図 2 枚中 1 枚目

Panasonic

羽束師27号地
MPI法 屋根置き MP245SS アンカー方式（70mm）

2022 年08 月03日

縮 尺

—

代理店様名

ご担当

販売店様名

ご担当

担当

提案No

WNC3CB

